

東京藝術大学が行う震災復興支援

■チャリティーコンサート 「故郷」(ふるさと)～被災地出身演奏家の祈りに応えて～



会場 : 東京オペラシティ コンサートホール
開催日 : 平成23年5月20日(金) 19:00開演



朝日新聞記事より

■経緯

本年4月3日に行われたフランスのボーヴェ大聖堂にてチャリティーコンサートのリハーサル時に「難民を助ける会」等の関係者が集まり、本学教授杉木峯夫、松下功、成田英明から、震災被災者のために音楽を通じた復興支援を行いたい旨を伝えたことがきっかけとなる。宮城県石巻市出身、東京藝術大学音楽学部卒で、現在東京フィルハーモニー交響楽団のトランペット奏者である安藤友樹氏の呼びかけとし、「故郷」(ふるさと)チャリティーコンサートを開催した。

ウインドオーケストラ(吹奏楽団)は、今回の趣旨に賛同した被災地出身等の演奏家75名、合唱20名、制作スタッフ等が参加、そのほとんどが東京藝術大学関係者やOB等で構成されている。

- ・ チケットは 1,500枚完売・演奏会当日 1,300名来場
- ・ 津波で楽器を全て流された石巻市の小中高等学校へ募金および寄附金を原資として楽器(30名編成)を寄贈予定。

■東京藝術大学教員有志による被災地復興支援作品展 「作家の力×愛好家の力=復興の力」

会場 : 藝大アートプラザ

会期 : 平成23年6月1日(水)～7月10日(日)

東京藝大教員有志による 被災地復興支援・文化財救援作品展 作家の力×愛好家の力=復興の力

出品作家(五十名順)

赤沼 潔	荒井 経	飯野 一朗
池田 政治	○JUN	小椋 範彦
河北 秀也	北郷 悟	木津 文哉
清水 泰博	越川 倫明	小林 正人
小松 佳代子	齋藤 典彦	坂口 寛敏
藤原 雅登	佐藤 一郎	佐藤 直樹
篠原 行雄	島田 文雄	関 出
茵部 秀徳	田中 一幸	田邊 幹之助
手塚 雄二	戸津 圭之介	豊福 誠
原 真一	日比野 克彦	藤原 信幸
布施 英利	保科 豊巳	前田 宏智
丸山 智巳	三井田 盛一郎	三田村 有純
光井 涉	宮廻 正明	宮田 亮平
宮永 美千代	村上 友重	山下 了是
横溝 廣子		

■趣旨: 東北のあらゆる惨状を見聞きするたびに「私たちに出来る事は……?」という思いに駆られます。私たちに有るのは芸術の力です。その力の結晶であるそれぞれの作品を東京芸術大学の教員が持ち寄り、被災した文化財の救援と修復を支援するため、売り上げを寄付いたします。皆様のお力添えをお願いいたします。

[義援金寄付先] 公益財団法人文化財保護・芸術研究助成財団



■東京藝術大学と飛鳥Ⅱによる大船渡市復興芸術支援 ～子供たちに夢を～ (案)



開催期日： 平成23年7月27日(水)～7月28日(木)
会場： 大船渡港と飛鳥Ⅱ船内ステージホール
主催： 郵船クルーズ、協力：東京藝術大学



■趣旨： これまで、飛鳥クルーズは、毎年大船渡を訪れる度に、地元の方達の暖かく盛大な歓迎をうけてきました。震災の後7月実施クルーズにおいて大船渡への寄港は検討されていましたが、今までと変わらない地元の方からの「ぜひ寄港を」の声と、飛鳥が来るからがんばろう！と思えるとの言葉。復興支援として東京藝術大学の協力のもと今回の寄港となりました。

- プログラム：
- ・ 船のオフィサーが制服姿で小学校を訪問
 - ・ 船に招く地元のお客様について 800名様を予定。
 - ・ 東京藝術大学教授による地元子供達向けの絵画教室。
 - ・ 東京藝術大学学生による演奏会の実施(船内ステージ)。

■「被災地美術館応援企画」「復興期の精神」— 今、美術の力を集めて (仮称)



会場： 東京藝術大学大学美術館
会期： 平成23年8月2日(火)～21日(日)
入館無料
主催： 東京藝術大学「復興期の精神」展実行委員会、共催：東京新聞

■参加呼びかけ美術館

- ・ 宮城県美術館・郡山市美術館・いわき市美術館・水戸芸術館
- ・ 茨城県近代美術館天心記念五浦美術館・茨城大学五浦美術研究所

■開催趣旨

この度の東日本大震災と大津波によって、該当地域の美術館・博物館も多く被災した。震災から2ヵ月が経過した現在、開館した施設もあれば、未だ開館の見通しの立たない施設もあり、被災の状況によって様々である。今回の企画は、東日本大震災から復興しようとする被災地域の美術館の姿を多くの方々に共有してもらう機会となる。施設の被害はあっても、作品資料と学芸員の意欲は健在である。それを象徴的に示す仮題「復興期の精神」は、花田清輝の代表作のタイトルを借用した。花田は、ルネサンスの思想家の研究を行い、彼らの復興精神を糧にすることで戦時下を生きた。それにならい、美術館の所蔵品から、多くの困難に打ち勝つために制作された作品を選抜し、一つの会場に結集することで、厳しい現状を乗り越え、震災復興のエネルギーとしたい。